

学校教育目標	『自らの生き方を切りひらく子どもの育成』～やさしさ いっぱいかがやく えがお～ 【知】自分らしさを発揮する子どもの意欲を引き出すようにします。 【徳】信頼と思いやりをもって、共に生きることでできる素晴らしさを実感できるようにします。 【体】自ら進んで心を育て、体づくりができるようにします。 【公】豊かなかかわり合いを通して、主体的に行動する力を育てていきます。 【開】地域を愛し、地域に学ぶ姿勢を大切にします。				
	創立 152 周年	学校長 白井 亮	副校長 中野 美千香	2 学期制	一般学級: 18 個別支援学級: 4
学校概要	児童生徒数: 550 人 主な関係校: 緑が丘中学校 山下みどり台小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	緑が丘中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自分づくりに関する力> <問題発見・解決能力> <心身ともにたくましく生きる力>	・緑が丘中学校 ・山下小学校 ・山下みどり台小 学校	○基本的な生活習慣を身につけ、すすんで学習に取り組む子ども ○人との関わりを通して、自己を認め、他を大切にすること ○年3回以上の小中一貫教育の共同研究を行っていきます。 ○相互の授業参観、研究討議、児童生徒、教師間の交流を推進します。 ○緑中ブロック小中一貫カリキュラムの運用・改善を行います。

中期取組目標	○自ら問題や課題を見出し、解決に向けて主体的に取り組む子どもを育てます。 ○自分の思いを大切にしながら、他と伝え合うことで考えを深めることができる子どもを育てます。 ○まちの「人・こと・もの」とのつながりを大切にして、感謝とまちを愛する気持ちを育てます。 ○地域との連携しながら、規範意識や人権を尊重する心、社会参画意識を高めていきます。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
知 授業改善	①「個別最適な学びを取り入れた授業」を目標に、多様な学習形態や方法を工夫し、低・中・高ブロックごとに具体的な手立てを考え実践する。②教科担任制・少人数学習・GIGA端末の活用を通して子どもたちの学力を丁寧に把握し、一人ひとりに合わせた指導を目指して授業改善に努める。
担当 推進部会	
徳 人権教育	①子どもたちの変化に気付き、困り感に寄り添うため、実態把握、環境整備、学習支援に取り組む。学校全体で児童理解を進め、子どもの自尊感情を育む。②規範意識や人権を尊重する心、社会参画意識をさらに高めるため、自然体験や生活体験、地域を生かした福祉教育を充実させる。
担当 道徳部 人権担当	
体 健康教育	①健康な体の育成を図るため、全校で取り組むことができる活動を計画する。(長縄集会、全校体操、学校保健委員会・運動委員会からの提案など) ②養護教諭、栄養職員を中心に保健指導や食育指導を実施する。
担当 体育部 保健部	
公開 地域と歩む学校	①学校だよりや学校ホームページ、すぐーる等で積極的に情報発信を行い、教育活動への理解協力を得るよう努める。②保護者や地域との連携を進め、協働して子どもたちを育む。③学校運営協議会では、学校が抱える課題を情報共有し、地域と共に学校づくりを行っていく。
担当 経営部	
いじめへの対応	①教職員のいじめに対する認識を再確認すると共に、いじめ防止対策委員会の機能を高め未然防止に努める。 ②学校・保護者・地域との連携を密に行い、未然防止、早期発見につなげる。 ③関連機関と連携し、組織的な対応を行う。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方)	①メンターを十年次以下の教職員を中心に組織し、月1回自主的自立的に研修・研究を行う。 ②チームでの対応を行うことによる組織力を強化し、多様化・複雑化する学校現場に対応していく。 ③グループウェアを活用して情報の共有化を図り、ICTを活用して効率的に研修を進める。
担当 経営部 メンター	
特別支援教育	①個別の教育支援計画・指導計画を活用し、個に寄り添った支援が行う。②特別支援教育に関する校内研修を実施し、配慮を要する児童への理解を深める。③校内支援体制や職員間の連携について、職員会議や児童指導委員会と共有し、複数年に渡って継続的に支援ができるようにする。
担当 特別支援委員会	
情報教育	①「ICT活用能力の育成」問題解決・探究の過程で、ICTを活用する場面を取り入れ、児童が必要感をもちながら効果的に活用できるようにする。②「情報モラル教育の充実」情報社会の特性を理解し、適正な活動ができる考え方や態度、技術を身に付けさせる。
担当 情報 推進部	
教育環境整備	①大規模災害を想定した訓練を年間計画に位置付け、職員間の連携の強化、児童が自分の身を自信で守れるように意識付けていく。 ②クラス数の増加に伴い、机・椅子の過不足がないか及び特別教室を含めた教室環境の整備を行い、安心・安全に過ごせるようにしていく。
担当 指導部 事務	
a15	c10
担当	